

令和3年度

教育行政執行方針

令和3年2月

江別市教育委員会

令和3年第1回定例会の開会に当たり、江別市教育委員会の教育行政の執行方針を申し上げます。

教育は、人々の多様な個性・能力を開花させ人生を豊かにするとともに、社会全体の発展を実現する基盤であります。

国は、「第3期教育振興基本計画」において、少子高齢化・人口減少、科学技術の進歩など、社会環境が大きく変化する中、激動の時代を豊かに生き、未来を開拓する多様な人材を育成するため、人生100年時代を見据えて、生涯学習社会の実現を目指すとともに、超スマート社会の到来に合わせた、次世代の教育の創造に向けた取り組みを重点的に推進していくこととしております。

江別市では、「第6次江別市総合計画」の基本理念の下、子どもたちが変化の激しい社会の中で生きていく力を身に付けるため、学力の定着をはじめとする教育の充実を図るとともに、生きがいや心の豊かさを育む文化やスポーツ活動の充実、ふるさと意識の醸成を図ることとし、関連する施策を推進してきております。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、公立小・中学校の一斉休校や社会教育施設の休館、スポーツイベントの中止や生涯学習事業の延期などの困難な対応を強いられる事態となりましたが、児童生徒や保護者、スポーツや社会教育団体など、関係者の協力の下、感染防止対策を講じながら、教育施策を進めてまいりました。

教育の持つ普遍的な役割は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、社会全体が大きな影響を受け、先行きが見通せない中であって、一層重要性を増すものと考えます。

社会の持続的な発展をけん引していく多様な力を育成するには、市民一人

ひとりが、それぞれの得意な分野で個性や能力を最大限に発揮し、生きがいや心の豊かさを持ち、心身ともに健康で暮らしていけるよう、生涯学習や文化・スポーツの環境整備、機会の充実を図る必要があるものと考えております。

こうした課題を踏まえ、「江別市教育大綱」の理念実現に向けた施策推進のための令和3年度における教育行政の基本方針と重点的な取り組みについて、学校教育、社会教育、スポーツの順に、申し上げます。

初めに、学校教育についてであります。

「江別市学校教育基本計画」に基づき、「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて行動する子ども」を目指して学校教育を進めてまいります。

新しい知識、情報、技術が、社会のあらゆる領域の活動において重要となる「知識基盤社会」の時代を、子どもたちが主体的、創造的に生きていくためには、基礎的な知識を身に付けるとともに、これを発展・応用させて行動につなげる力、すなわち、確かな学力を伸ばすことが必要であります。

そのため、国のGIGAスクール構想に合わせて整備を進めてきた、校内LANやタブレット端末、多機能大型ディスプレイに加え、新学習指導要領に対応した主要5教科の指導者用デジタル教科書を小学校に加えて中学校に拡充して導入し、これらを活用した授業を6月から本格実施することにより、児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた、対話的できめ細やかな指導を行い、より深い学び合いの実現を図ってまいります。

さらに、専門事業者や市内大学と連携したサポート体制により、教員の負担軽減と併せてICTを活用した学習環境の整備を進め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことがないように、協働的で個別に最適化された、資質・能力の確実な育成に繋がる教育の実現を目指してまいります。

次代を担う子どもたちが、豊かな人間性を育みながら成長していくため、各学校が定めた教育目標やビジョンを地域と共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指して、引き続き、えべつ型コミュニティ・スクール事業を進めてまいります。

併せて、新たに策定した「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、令和5年度を目処に小中一貫教育を全ての中学校区に導入し、小学校から中学校への円滑な接続や、義務教育9年間を見通した系統的な教育活動を進めてまいります。

さらに、子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たして、自分らしい生き方を実現する力を養うため、家庭や地域と連携し、職場体験等の発達段階に応じた活動を行う、キャリア教育の取り組みを進めてまいります。

特別支援教育では、児童生徒が障がいに応じた適切な教育が受けられるよう、教室などの施設改修を進めるほか、特別支援教育支援員の配置拡充を図るとともに、医療的ケアを必要とする児童生徒の受入れについては、学校に配置する看護師が中心となり、保護者との事前相談や職員のための研修、教室の施設整備などの準備を進めてまいります。

このほか、児童生徒の確かな学力の定着に向けて、複数の教員で指導に当たる小中学校学習サポート事業や、外国語教育における外国語指導助手の全小・中学校への派遣、学校司書の巡回配置による読書活動の充実に向けた取り組み、地場産の米や野菜を使用した安全・安心な給食の提供や、学校の特色に応じた食育の取り組みなどを進めてまいります。

次に、社会教育について申し上げます。

「江別市社会教育総合計画」に基づき、江別市の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会創造に向けた人材育成を目指してまいります。

そのため、貴重な歴史的建造物を市民の共有財産として広く知ってもらい、その価値を還元することを目指して検討を行ってきた北海道林木育種場旧庁舎について、民間事業者による管理運営の下、経済活動や地域交流の貢献にもつながる、文化財の保存と利活用を進めてまいります。

さらに、縄文土器をはじめとする、先史時代から現代までの貴重な文化財や民具の適切な整理・保存を行うため、老朽化した文化財整理室を旧角山小学校に移転し、郷土資料館の常設展示や企画展における収蔵資料の一層の活用を図るとともに、調査研究や情報発信の推進につなげ、江別の歴史・文化を次代に継承していく取り組みを充実させてまいります。

このほか、コロナ禍にあっても、市民が学ぶ機会を持ち続けることができるよう、公民館や情報図書館などの社会教育施設の感染防止対策を徹底して安全な運営に努めるとともに、えべつ市民カレッジをはじめとする学習機会の提供や、関係団体への支援などを行ってまいります。

次に、スポーツについて申し上げます。

「江別市スポーツ推進計画」に基づき、すべての市民がスポーツに親しめるよう、スポーツを「する」ことに加え、「みる」、「ささえる」機会の充実を目指してまいります。

そのため、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機としたスポーツ合宿誘致を進め、参加選手との交流などを通して、市民へのスポーツ活動の浸透を図るとともに、障がい者スポーツの普及促進に向けて、パラリンピック聖火リレーの火へとつながる採火式などの取り組みを進めてまいります。

また、「はやぶさ運動広場移転に係る基本構想」に基づく少年野球場の建設を進め、「都市と農村の交流センターえみくる」へ移転することで、スポーツ環境の向上を図るとともに、一体的な利用により施設の効用を高め、地

域との交流促進、青少年の健全育成につなげてまいります。

さらに、市営住宅の未利用地を活用して、あけぼのパークゴルフ場の拡張に向けた設計・整備を進め、スポーツ活動を通じた運動習慣の実践・定着が進むことで、市民の健康づくりや地域の交流促進にもつながる、スポーツ環境の充実を図ってまいります。

このほか、市民が日常的にスポーツに親しみ、充実した活動を行うため、体育施設における感染防止対策を徹底して安全な運営に努めるとともに、市内の体育団体を統括する組織を支援して、各団体の活動の活性化を図るなど、地域のスポーツ環境の充実に取り組んでまいります。

以上、令和3年度の教育行政執行に当たっての方針と主な施策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束はいまだ見通せない中ではありますが、コロナ禍にあっても、日本の未来を担う子どもたちが、夢を語り合い、その実現に向かって切磋琢磨し、心豊かにたくましく成長できることを願い、さらに、市民一人ひとりがいきいきと豊かな人生を送ることができるよう、各種教育施策に全力で取り組んでまいります。

市民の皆様と議員各位の一層のご理解、ご協力を、心からお願い申し上げます。